

# 凹凸ガラスに貼れる遮熱フィルム OTE50 完成

凹凸ガラス用省エネ・遮熱効果フィルム開発

Cyber-Reps

業界初:凹凸ガラスに貼れるフィルム完成  
遮光・遮熱・飛散防止に効果 PET厚50ミクロン+粘着層100ミクロン=総厚150ミクロン!  
分厚い糊が、凹凸ガラスの凹面に喰い込んでしっかり粘着します。  
粘着層に、防犯フィルムで実績の分子勾配膜(国産)を採用

●用途:凹凸ガラス

●フィルムの貼り方

通常のガラスフィルムと異なり、水なしで、ドライで貼ります。  
※水貼りすると、施工液が抜けなくなります。

試行錯誤の結果、

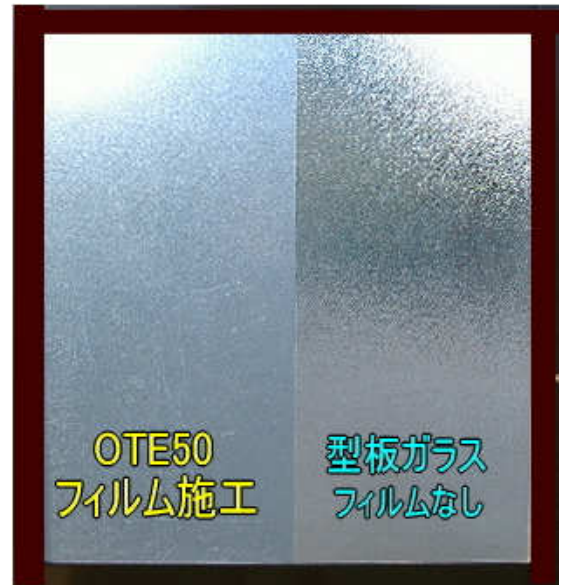
ベストは、下記のとおりになりました。

準備:ガラス面の汚れ(特に油分)を洗剤等で洗浄し、  
しっかり水洗いして、ガラス面を乾燥させます。

1. 周囲2mmづつあけたフィルムを用意
2. ドライで貼る(水は使わない)

サイズが大きい場合は“当て切り”が便利  
“当て切り”不慣れな方には困難です。

弊社指定のフィルム施工技能士にお任せください。



## OTE50 光学特性

項目		単位	特性値
可視光線	透過率	%	37.8
紫外線遮断率		%	99
日射	透過率	%	30.1
	反射率	%	32.5
	吸収率	%	37.4
遮へい係数		-	0.48
熱貫流率		W/M2K	5.6
ご注意: ・上記の値はメーカー標準値であり保証値ではありません、改良等により予告なく変更する場合があります。			

このOTE50は  
地震対策



紫外線対策



プライバシー保護にもなります。

## 凹凸ガラス用遮熱フィルムについて

今まで、表面がデコボコした凹凸ガラスに貼れる遮熱用窓フィルムはありませんでした。凹凸ガラスのデコボコ面は家の内側ですが、通常のフィルムは平らな面しか貼れないのです。

従って、凹凸ガラス用には、建物の外側から貼る“外貼り”にするか、ガラスを入れ替えて(反転して)、平滑面を家の内側にするしかありませんでした。

PET製凹凸ガラス用防犯フィルムを業界で初めて開発したのは弊社です。

分子勾配膜粘着剤の採用が決め手でした。

この凹凸ガラス用遮熱フィルムにも、分子勾配膜を採用しました。

JISA5759に規定されている日射調整フィルムの粘着力を確保しました。

## 網入りガラスに貼れる?

網入り凹凸ガラスにも貼れますが・・・熱割れを起こさないとは言いきれません。

網入りガラスはもともと熱割れを起こしやすいガラスです。

このフィルムを貼ることにより、少し熱割れを起こしやすくなると同時に、ガラスを強化する効果もあります。

網入りガラスにも色々な種類があります、多くの場合、熱割れに対する許容範囲内に収まります。現状では、網入りガラスにフィルムを貼って熱割れが起きた場合の補償には応じられません。

## 凹凸ガラス用遮熱フィルム開発のポイント

通常のガラスフィルムの粘着層厚さは、10ミクロン前後しかありません。これでは、凹凸ガラス面には貼れません。

弊社は、粘着剤に100ミクロン厚の分子勾配膜を採用し、粘着層を含めた総厚を150ミクロンにしました。

これにより、十分な粘着強度が得られました。

基材のPETには、熱線反射スタンダードフィルムRS35Aを採用しました。

遮へい係数は、0.48

これにより、約52%もの熱線遮断効果があります。

凹凸ガラス用の防犯フィルムで培ったノウハウを駆使してやっと完成した凹凸ガラス用遮熱兼飛散防止フィルムです。